

# カリフォルニアの風

第4号 令和8年6月26日 発行  
サンフランシスコ日本語補習校  
校長 相澤 順

## 集中学習期間を終えて

一週間にわたる集中学習期間が終わりました。補習校にとって、五日間連続して授業を行うことができるこの期間は、子どもたちの学びを深める大変貴重な機会です。各校ではこの機会を生かして、通常授業に加え「特別プログラム」を実施し、教科ごとに時間をかけて学習を積み重ねたり、学びのまとめとして発表や作品づくりに取り組んだりするなど、子どもたちが普段以上に充実感や達成感を味わえるよう、さまざまな工夫を重ねてきました。

今回の集中学習期間においても四校それぞれで、教科横断的な学習や発展的な内容、日本語力の向上につながる活動、日本の行事や文化に親しむ学習など、多彩な授業が展開されました。子どもたちは、自らの興味や関心を広げながら、友達と考えを交流し、協力し合い、主体的に学びに向かっていました。私自身もいくつもの授業を参観しましたが、子どもたちの真剣な表情や生き生きとした対話、そして学ぶことを楽しむ姿に何度も足を止め、共に学びたくなる思いを抱きました。集中学習期間は、まさに本校が大切にしている「日本語で学ぶ楽しさ」や「仲間とともに学ぶよさ」が、教室内外のあちらこちらで感じられる一週間であったと思います。

また、中高部二校では、集中学習期間の締めくくりとして球技大会・スポーツ大会を実施しました。学級ごとにそろいのカラーTシャツを身に付け、チーム名やキャラクターを工夫してデザインし、仲間と心をつなげて球技に臨む姿は、補習校ならではの活気に満ちたものでした。ドッジボールやバレーボール（バスケットボール）の試合では、円陣を組んで気持ちを高め合ったり、仲間のプレーに大きな声援を送ったりする姿が見られ、学級のつながりや互いを認め合う温かな雰囲気が会場いっぱい広がっていました。



【女子バレーボールの様子：中高部SJ校】



【対戦前、気持ちを一つに！：中高部SF校】

こうした行事は体を動かす楽しさを味わうだけでなく、日本の学校文化に触れ、仲間と協力して一つの活動をつくり上げる大切な機会でもあります。補習校という限られた時間の中だからこそ、仲間とともに思い切り活動し、笑い合い、励まし合う経験は、子どもたちの心に残る大切な学びになるのだと、改めて感じました。運営を支えてくださった卒業生ボランティアの皆様、そしてサンノゼ校でご協力いただいた保護者ボランティアの皆様にも、心より感謝申し上げます。

さて、これで夏休み前の十五回の授業日を終えました。ここまでの教育活動を支えてくださった保護者の皆様のご理解とご協力に、改めて深く感謝申し上げます。子どもたちが安心して学び、さまざまな活動に意欲的に取り組むことができるのは、日々ご家庭で支えてくださっている保護者の皆様のお力添えがあってこそです。

すでに夏休みに入って一週間ほどが過ぎました。どうかこの夏休みが、お子様にとって心身を整え、新たな経験や出会いを通して成長する充実した時間となりますように、また保護者の皆様、ご家族の皆様にとっても実り多い日々となりますよう、心より願っております。夏休み明けに、ひと回り成長した子どもたちの元気な姿に会えることを楽しみにしています。

# 集中学習期間中の各校の授業風景より（一部掲載）

幼小部サンノゼ校



【小1国語の単元より。「トマトとイチゴ」を観察。よく見て絵日記風に記録。幼小部SF校でも同様の授業を実施】

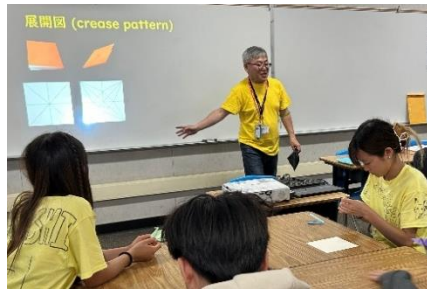


【小3社会。「工場の仕事」についての学習。昨年度の3年生の成果物を見て、グループごとにまとめ方をイメージ中】



【小6国語。学習した「やまなし」の作者、宮沢賢治についての調べ学習。作者の理想郷「イーハトーブ」に迫る】

中高部サンノゼ校



【高1数学。「吉村折り」に挑戦。展開図を見て、規則的な折りの構造を考えながら、形を立ち上げていました。】



【中1,2国語。きらきら星などの曲に補習校生活に関する歌詞を創作。グループ毎に歌い披露。名作詞家揃いで盛り上がりました。】



【生徒会企画。昼休みに、希望者参加の紙飛行機大会を実施。青空へ「ぴゅー」10m超えの大飛行がありました。】

幼小部サンフランシスコ校



【小5理科。振り子の重さの実験。「重さを変えると、振り子の一往復時間は変わる？」協力して計測中】



【小6国語。「デジタル機器はとても便利。でも使い方は気を付けないといけないね…」発表に向け活発に意見交換中】



【小4理科。直列・へい列。つなぎ方でモーターの回る速さに違いがあるのか？実験からわかったことをまとめます。】

中高部サンフランシスコ校



【球技大会に向けて、全学級でTシャツにチーム名等を描いています。それぞれの想いを込め、黙々と作成中…】



【高2国語。「文学史タイムトラベラー」と題し、各時代の文学の特徴をグループごとに調べ、発表。文学史年表が完成】



【中2数学。古代文明から発展してきた数学について調べ、ポスター作成。全グループが発表し、数学文明博物館の完成】

## 中高部「球技大会 & スポーツ大会」を終えて、代表生徒の言葉

球技大会閉会式での挨拶より 中高部サンフランシスコ校 体育行事委員長 鈴木 幸さん

皆さん、今日一日、大変お疲れ様でした。

球技大会の準備を約一ヶ月前に始めてから今日まで、特に大きな問題もなく球技大会を終えることができました。去年は小学部と同じ校舎ということもあり、僕たちが思うような種目を取り入れることや、十分な試合の時間を取ることができませんでした。今年、皆さんが慣れ親しんでいる学校で開催できましたので、より成功したと思います。

中学一年生の皆さんにとっては初めての球技大会でしたが、楽しくできましたか？みんなで力を合わせて、戦えましたか？他の学年の人たちは日頃のストレスを今日の球技大会で発散したのではないのでしょうか。僕は発散できた一人です。

冗談はさておき、試合には勝ち負けがあります。勝つことは嬉しい、負けることは悔しい。しかし勝ち負けに一喜一憂するのではなく、そこまでに至るプロセスがもっと大事だと思っています。クラスの皆で力をあわせて戦ったことこそが、本来の目的ではないのでしょうか。僕たち高校二年生も最後の球技大会でしたが、皆の力を合わせて戦うことができました。

僕は中学一年からずっと高校二年生まで球技大会委員をやっていました。なぜ五年間もやっていたのでしょうか。それは、普通に楽しかったからです。学校がつまらなかつたら、自分たちで楽しくしたいと思ったからです。楽しいことをしたかったら自分たちで動かないと何も始まりません。この思いを後輩の皆さんにたくししたいと思います。頑張ってください。

最後に、球技大会開催に際して、本日朝早くから準備をしてくださったボランティアの皆様、審判として駆けつけてくださった先輩方、そして、私たち体育行事委員をサポートしてくださった先生方に、心より感謝の気持ちを述べたいと思います。

今年も楽しく終えることができました。どうもありがとうございました。

スポーツ大会閉会式での挨拶より 中高部サンノゼ校 生徒会長 帯屋 類さん

みなさん、本日のスポーツ大会は楽しんでいただけただけでしょうか。

まずは、頑張った自分に大きな拍手を送りましょう。そして、頑張ったチームメイトにも拍手を。さらに、勝敗に関係なく、最後まで全力で楽しく戦ったすべての生徒の皆さんに、心から拍手を送りたいと思います。

また、スポーツ大会を支えてくださった保護者ボランティアの皆様、卒業生ボランティアの皆様に対し、心から拍手を送りたいと思います。

勝ったチームや負けたチーム、また、スポーツ大会以外のイベント（Tシャツコンテスト等）で優勝したチームなど様々だと思いますが、一番大切なのは努力したことです。結果だけでなく、何事にも全力で取り組んでいた皆さん一人ひとりが最もカッコよかったのではないかと思います。仲間との協力や自分が一生懸命取り組む気持ちを忘れずに、夏休み明けもともに頑張っていけたらよいと思います。

最後になりますが、今日という日を最高にしてくれた全生徒の皆さんに感謝を申し上げます。ぜひ、本日は身体を休め、また元気な姿で会いましょう。

以上をもちまして、生徒会を代表しての挨拶とします。ありがとうございました。